

「高校を選択する時のポイント」

本人

自分の目と肌
で確かめる



★ オープンスクールや文化祭に参加しよう!

□ 学校の規模

→ 生徒数は多い?少ない?
自分に合うのは、どっち?

□ 雰囲気

→ 校風・校則が合っているか

□ 部活の種類

→ 中学で所属した部が存在しなくても大丈夫か

□ パーソナルスペース

→ 個人用のロッカーがなく、毎日全て持ち帰る学校も

□ 施設の設備

→ エレベーターの有無・トイレが抵抗なく使えるか

□ 掲示物チェック

→ 校内で作成されたポスター等から、校風が感じ取れる

イベントの日程を調べて、中3になる前に複数の学校に行ってみよう!



「合わないな」という
気づきも、自分を
知る上で大切。

～ よくある失敗談 ～

電車通学にあこがれて…

制服が素敵!

先輩が行ったから♪



親子で

登下校も
含めて体験する



★ 通う自分を想像してみよう!

□ 電車やバス

→ 混み合う空間・匂い・閉塞感・乗車時間



遅延などのトラブルを見越して…
子どもが自ら連絡し、助けを求められる力が大切!困った時に連絡する人を決めておく。

□ 自転車

→ 安全に乗れるか
(運転技能と判断力)



□ 息抜き(自己調整の場)

→ 下校中のお楽しみになりそうな場所は?

□ 危険を伴う場所

→ 犯罪に巻き込まれそうな所はないか

□ 心配な場所

→ 例) ゲームセンター
お金の使いすぎや金銭トラブル



毎日通える体力は
何より大切。
乗車中を眠る時間にあててもOK!

～ 「自分」について
理解していること ～

保護者

疑問・不安は
どんどん質問する



★ 入試説明会・相談会へ足を運ぶ

□ 入試の方法

→ 自己推薦の有無・書類選考のみの学校も

□ 学費について

→ 公立と私立で異なる

□ アルバイトを認めているか

→ 卒業後に就職を考えている場合、社会経験の第一歩に

□ 本人の特性への配慮

- ・ 別室対応ができるか
- ・ 通級(自立活動などを個別で学べる場)の有無
- ・ 黒板を写すのが苦手。タブレットで撮影してよいか?
- ・ 読み書き、会話は得意だが、計算ができない。等

※ 配慮についての相談が、入試で不利になることはないそうです。

尋ねるためには、自己を「知る」ことが大切。どんな特性があり、どんな時に強く表れやすいのか。(天気、曜日、環境…?)
→ 「〇〇な時、△△な状態になりやすいので、こんな支援をしていただけますか?」



先輩に合う学校が、自分にも合うとは限りません。電車通学が苦痛で、不登校になってしまうケースもあります…。